B6FH-7021-01

DESKPOWER

TXシリーズ

パソコンのOSを起動せずにテレビやビデオを見る方法について
説明しています。

インスタントテレビ機能
取扱説明書

1 お使いになる前に

2 インスタントテレビを使う

3 こんなときは

FUJITSU

はじめに

このたびは、FMV-DESKPOWER TX シリーズ（以降、本製品）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。このマニュアルは、本製品をテレビとして使用することができる、「インスタントテレビ機能」の操作について説明したものです。このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2005 年 9 月

インスタントテレビでできること

本製品には、「インスタントテレビ機能」が搭載されており、パソコン本体の電源を入れなくても、本製品内蔵の TV チューナーを使用してテレビ放送を見たり、ビデオやセットトップボックスなどの外部映像機器の映像を見ることができます。

■インスタントテレビでできること

・テレビ放送を見る
・ビデオデッキなどの再生機器を接続して映像を楽しむ
・セットトップボックスを接続して衛星放送やケーブルテレビ放送を楽しむ
・ビデオ出力端子のあるデジタルカメラ、デジタルビデオカメラを接続して静止画や動画を楽しむ

■インスタントテレビでできないこと

・テレビ放送をパソコンに録画する
・ビデオの映像をパソコンにダビングする
・テレビ放送を外部の機器に出力する

POINT

・お買い上げいただいたパソコンにはテレビを見るためのソフトウェア「TVfunSTUDIO」が別途搭載されています。「TVfunSTUDIO」を使用すると、テレビ放送を録画したりビデオの映像をパソコンにダビングしたりすることができます。
詳しくは『FMVで見る・録る・残すガイド』→「第４章　Windowsを起動してテレビ／DVD／CDを楽しむ」→「基本的なテレビの見かた」をご覧ください。
・DESKPOWER TX90M/D をお使いの場合、または TX90MN でデジタルハイビジョンチューナーカードを選択した場合、上記「TVfunSTUDIO」に加えてデジタル放送を見るためのソフトウェア「DigitalTVbox」が搭載されています。「DigitalTVbox」を使用すると、デジタル放送を見たり録画したりすることができます。
詳しくは『FMV で見る・録る・残すガイド』→「第５章　デジタル放送を楽しむ」をご覧ください。

■対応するテレビ放送

	インスタントテレビ	
	視聴	録画
地上アナログ	○	×
地上デジタル	× [注 1]	×
BS アナログ	× [注 1][注 2]	×
BS デジタル	× [注 1][注 2]	×
CS デジタル	× [注 1][注 2]	×
CATV	× [注 3]	×

注 1 : インスタントテレビでこれらの放送を視聴するには、セットトップボックスが必要になります。接続したセットトップボックス経由でご覧ください。

注 2 : 有料スクランブル放送を視聴するには、専用のデコーダーが必要となります。

注 3 : 無料放送の場合は視聴ができます。有料スクランブル放送を視聴するには、専用のデコーダーが必要となります。

インスタント MyMedia、または TVfunSTUDIO を使用すると、地上アナログ放送および CATV の無料放送を録画することができます。また、DigitalTVbox を使用すると、地上デジタル放送、BS デジタル放送、CS デジタル放送を視聴・録画することができます。詳しくは『FMV で見る・録る・残すガイド』をご覧ください。

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。また、添付の『パソコンの準備』の「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルおよび『パソコンの準備』は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いのモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
▶	参照先を記述しています。
	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。
	サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。 ・キーボードの「サポート」ボタンを押す ・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント（マニュアル＆サポート）」→「富士通サービスアシスタント」の順にクリック

製品の呼びかたについて

このマニュアルでは製品名称を、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
FMV-DESKPOWER TX90M/D	パソコン本体 本製品
FMV-DESKPOWER TX90MN	
FMV-DESKPOWER TX70M	
富士通サービスアシスタント　V3.2	サービスアシスタント
外部デジタルチューナー BS・CS・CATV チューナー ケーブルテレビ会社用のホームターミナル	セットトップボックス

商標および著作権について

目次

1 各部の名称と機能

前面

1 スピーカー

テレビやビデオなどの音声を出力します。
ヘッドホン端子にヘッドホンを接続している間は、スピーカーから音がでません。スピーカーから音を出力する場合は、ヘッドホンを抜いてください。

2 リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。

3 入力切換ボタン

映像信号入力を、テレビ→ビデオ 1 →ビデオ 2 →コンポーネントの順に切り換えます。

4 チャンネルボタン

テレビのチャンネルを変更します。右側のボタンを押すと数字の大きいほうに、左側のボタンを押すと数字の小さいほうに切り換えます。

5 音量調節ボタン（）

スピーカーまたはヘッドホンの音量を調節します。右側のボタンを押すと大きく、左側のボタンを押すと小さくなります。

6 液晶ディスプレイ

テレビやビデオなどの映像を表示します。

7 テレビ電源ボタン（⏻）

インスタントテレビを起動するときと終了するときに押します。

8 テレビ電源ランプ（TV）

インスタントテレビが起動しているとき、緑色に点灯します。

9 パソコン電源ランプ

パソコンの電源が入っているとき、緑色に点灯します。

10 ヘッドホン端子（🎧）

市販のヘッドホンを接続します。

ヘッドホンを接続している間は、スピーカーから音が出ません。スピーカーから音を出力する場合は、ヘッドホンを抜いてください。

⚠注意

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。
  耳を刺激するような大きな音量で聞くと､聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

- ヘッドホンをしたままパソコンまたはテレビの電源を入れたり切ったりしないでください。
  突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

11 ビデオ 2 音声入力端子（右）（R）

ビデオ 2 入力端子に接続した映像機器からの音声（右）入力端子です。

12 ビデオ 2 音声入力端子（左）（L）

ビデオ 2 入力端子に接続した映像機器からの音声（左）入力端子です。

13 ビデオ 2 入力（コンポジット）端子（）

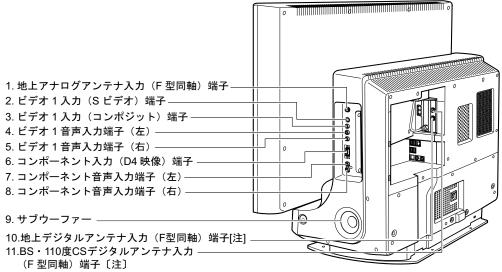
ビデオなどの映像機器を接続します。

「外部映像機器を接続する」（ ••▶ P.24）

14 ビデオ 2 入力（S ビデオ）端子（S）

ビデオなどの映像機器を接続します。

「外部映像機器を接続する」（ ••▶ P.24）

右側面

イラストは機種や状況により若干異なります。

1 地上アナログアンテナ入力（F 型同軸）端子（Y）

地上アナログ放送用のテレビアンテナを接続します。

2 ビデオ 1 入力（S ビデオ）端子（→S）

ビデオなどの映像機器を接続します。
「外部映像機器を接続する」（ ▶ P.24）

3 ビデオ 1 入力（コンポジット）端子（→）

ビデオなどの映像機器を接続します。
「外部映像機器を接続する」（ ▶ P.24）

4 ビデオ 1 音声入力端子（左）（((↔)) L）

ビデオ 1 入力端子に接続した映像機器からの音声（左）入力端子です。

5 ビデオ 1 音声入力端子（右）（((↔)) R）

ビデオ 1 入力端子に接続した映像機器からの音声（右）入力端子です。

6 コンポーネント入力（D4 映像）端子

セットトップボックスなどの映像機器を接続します。
「外部映像機器を接続する」（ ▶ P.24）

7 ビデオ音声入力端子（左）（((↔)) L）

コンポーネント入力（D4 映像）端子に接続した映像機器からの音声（左）入力端子です。

8 ビデオ音声入力端子（右）（((↔)) R）

コンポーネント入力（D4 映像）端子に接続した映像機器からの音声（右）入力端子です。

9 サブウーファー

音声の低音成分が出力されます。

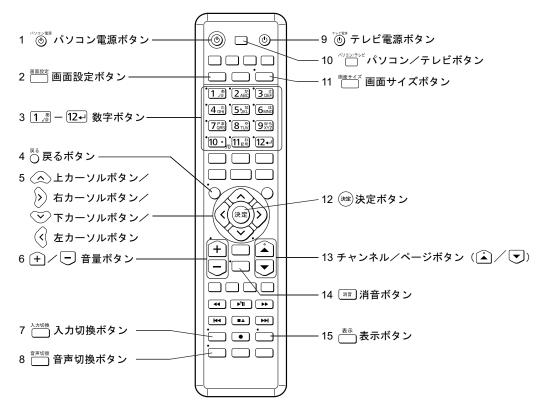
10 地上デジタルアンテナ入力（F型同軸）端子（地上デジタル）[注]

地上デジタル放送用のテレビアンテナを接続します。
インスタントテレビでは使用しません。

11 BS・110度CSデジタルアンテナ入力（F型同軸）端子（BS·110°CS デジタル）[注]

BS ／ 110 度 CS デジタル放送用のテレビアンテナを接続します。
インスタントテレビでは使用しません。

注 : TX90M/D の場合、または TX90MN でデジタルチューナーを選択した場合のみ

リモコン

（イラストは機種や状況により異なります）

POINT

ここでは、インスタントテレビ機能で使用するボタンのみ説明しています。
パソコンモードでの操作、および乾電池の入れ方、リモコン使用時の注意点については、『パソコンの準備』の「第５章　周辺機器の設置／設定／増設」→「リモコンについて」、または（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5.パソコン本体の取り扱い」→「リモコン」→「リモコンについて」をご覧ください。

1 パソコン電源ボタン

パソコン本体の電源を入れるときと切るときに押します。

2 画面設定ボタン

メニュー画面を表示します。

3 1 − 12 数字ボタン

1 〜 12 のテレビチャンネルを選択します。

4 戻るボタン

メニューボタンが表示されているときに、一つ前の画面に戻ります。

5 上カーソルボタン／右カーソルボタン／下カーソルボタン／左 カーソルボタン

メニュー画面で調整項目を選択したり、設定値を調整するときに使用します。

6 ／ 音量ボタン

本製品のスピーカーまたはヘッドホン音量を調整します。

7 入力切換 **入力切換ボタン**

映像信号入力を切り換えるときに使用します。
ボタンを押すたびにテレビ→ ビデオ 1 →ビデオ 2 →コンポーネント（→テレビ）の順で切り換わります。
(パソコン本体の入力切換ボタンと同じ動作をします)

8 音声切替 **音声切換ボタン**

音声多重放送の場合に、音声を切り換えます。
ボタンを押すたびに、主音声→副音声→主＋副音声（→主音声）の順で切り換わります。

9 テレビ電源 **テレビ電源ボタン**

インスタントテレビを起動するときと終了するときに押します。

10 パソコン/テレビ **パソコン／テレビボタン**

ディスプレイの動作モードを切り換えます。
パソコンモード：パソコンの画面、音声を出力します。
テレビモード：テレビ、または外部映像機器の画面、音声を出力します。

11 画面サイズ **画面サイズボタン**

画面サイズを切り換えます。

12 決定 **決定ボタン**

メニュー画面において操作するタブや項目を決定したり、調整値を決定したりするときに使用します。

13 チャンネル／ページボタン（▲／▼）

テレビのチャンネルを切り換えます。
(パソコン本体のチャンネルボタンと同じ動作をします)

14 消音 **消音ボタン**

本製品のスピーカー出力のオン／オフを切り換えます。
なお、スピーカー出力をオフにしても、ヘッドホンの音量には影響しません。
(パソコン本体の消音ボタンと同じ動作をします)

15 表示 **表示ボタン**

入力映像信号の情報を表示します。

2 接続

インスタントテレビをご使用になる前に、本製品にアンテナケーブルおよび電源ケーブルを接続する必要があります。
アンテナケーブルおよび電源ケーブルの接続方法については、『パソコンの準備』の「第３章　接続する」をご覧ください。

重要

全ての接続が終了するまで、本製品の電源を入れないでください。

POINT

ビデオデッキ、セットトップボックスなどの外部映像機器を接続する場合は、「外部映像機器を接続する」（▶ P.24）をご覧ください。

3 チャンネルの設定

チャンネルの設定にはリモコンを使用します。

チャンネルを検出する

放送電波を検出して、チャンネルの自動設定を行います。

POINT

・チャンネルの設定は、放送のある時間帯に行ってください。
・CATV の受信はサービス（放送）の行われている地域のみ可能です。CATV を受信するときは、使用する機器ごとに CATV 会社との受信契約が必要です。さらに有料放送などスクランブルがかかった放送の視聴・録画には、対応するセットトップボックスが必要になります。詳しくは、サービスを行っている CATV 会社へご相談ください。
・インスタントテレビ機能単体では、BS/CS 放送は受信できません。BS/CS 放送をご覧になりたい場合は、別途セットトップボックスを接続してください。（••▶ P.24）
・パソコン本体にインストールされている「TVfunSTUDIO」のチャンネルを設定すると、そのうち 1 ～ 16 チャンネルの内容がインスタントテレビ機能の設定にも反映されます。「TVfunSTUDIO」とは異なるチャンネル設定を行う場合には、「TVfunSTUDIO」のチャンネル設定を実行した後に、改めてインスタントテレビ機能のチャンネル設定を行ってください。
「TVfunSTUDIO」のチャンネル設定については、『FMV で見る・録る・残すガイド』→「第 2 章 準備をする」→「チャンネルを設定する」をご覧ください。

1 **テレビ電源 を押して、インスタントテレビを起動します。**

本製品のテレビ電源ランプが緑色に点灯します。

POINT

本製品をパソコンモードで使用しているときは、パソコン/テレビ でもインスタントテレビを起動することができます。

2 **入力切換 を押して、テレビ入力に切り換えます。**

テレビ入力が選択されると、画面右上に「テレビ」と表示されます。

3 画面設定を押して、メニュー画面を表示します。

4 ／で「チャンネル設定」を選択し、決定を押します。

5 ／で「チャンネルサーチ」を選択します。

6 本製品を VHF/UHF アンテナと接続した場合には「アンテナ」を、CATV と接続した場合には「ケーブル」を／で選択します。

VHF/UHF の場合

7 決定を押します。

チャンネルサーチを開始します。

チャンネルサーチ実行中です

POINT

- 電波の受信状態が悪い場合、チャンネルサーチを行うごとに検出結果が異なることがあります。
- チャンネルサーチが終了するまで 1、2 分かかる場合があります。

8 チャンネルサーチが完了すると、自動的にチャンネル設定画面に移ります。

チャンネル設定を変更したい場合は、続けて次の「チャンネル設定を変更する」手順 3 以降を行ってください。

チャンネル設定

設定を変更するチャンネルを
選択してください

リモコン	受信	表示	微調整	スキップ
1	1	1	0	しない
2	2	2	0	しない
3	3	3	0	しない
4	4	4	0	しない
5	5	5	0	しない
6	6	6	0	しない
7	7	7	0	しない
8	8	8	0	しない
9	9	9	0	しない
10	10	10	0	しない
11	11	11	0	しない
12	12	12	0	しない
13	13	13	0	しない
14	14	14	0	しない
15	15	15	0	しない
16	16	16	0	しない

戻る

POINT

チャンネルサーチは、放送電波を対応するチャンネル番号に割り当てていきます。ご使用になる地域などの条件によっては、一部のチャンネルが割り当てから外れてしまうことがあります。その場合は次の「チャンネル設定を変更する」を行ってください。

9 ／ で「戻る」を選択し、決定を押します。

設定が保存され、メニュー画面に戻ります。

POINT

カーソルが「リモコン」の欄にない場合、決定を押すと「リモコン」の列にカーソルが移動します。

10 戻るを二回押します。

メニュー画面が消え、テレビを見ることができます。

チャンネル設定を変更する

チャンネル設定画面では、以下の項目について設定および調整ができます。

- リモコンの各番号ボタンに割り当てる受信チャンネルの設定
- 画面右上に表示されるチャンネル番号の設定
- 各チャンネルの微調整
- ▲／▼またはパソコン本体のチャンネルボタンでチャンネルを切り換えた場合に、不要なチャンネルをスキップする設定

POINT

- チャンネルは 1 ～ 16 まで設定できますが、リモコンの 1 － 12 で直接チャンネルを切り換えられるのは 1 ～ 12 までです。13 ～ 16 は▲／▼またはパソコン本体のチャンネルボタンでチャンネルを切り換えてください。
- ご使用になる地域や CATV、マンションなどの共同受信システムによっては、微調整を行うことにより画質が良くなることがあります。

1 **メニュー画面で「チャンネル設定」を選択し、決定を押します。**

2 **⌃／⌄で「手動設定」を選択し、決定を押します。**

3 **⌃／⌄で割り当てを変更したいリモコンチャンネルを選択し、〉を押します。**

リモコン	受信	表示	微調整	スキップ
1	1	1	0	しない
2	2	2	0	しない
3	3	3	0	しない
4	4	4	0	しない
5	5	5	0	しない
6	6	6	0	しない
7	7	7	0	しない
8	8	8	0	しない
9	9	9	0	しない
10	10	10	0	しない
11	11	11	0	しない
12	12	12	0	しない
13	13	13	0	しない
14	14	14	0	しない
15	15	15	0	しない
16	16	16	0	しない

4 ／ で割り当てたい受信チャンネルを選択し、 を押します。

チャンネル設定

受信チャンネルを
選択してください

リモコン	受信	表示	微調整	スキップ
1	1	1	0	しない
2	2	2	0	しない
3	3	3	0	しない
4	4	4	0	しない
5	5	5	0	しない
6	6	6	0	しない
7	7	7	0	しない
8	8	8	0	しない
9	9	9	0	しない
10	10	10	0	しない
11	11	11	0	しない
12	12	12	0	しない
13	13	13	0	しない
14	14	14	0	しない
15	15	15	0	しない
16	16	16	0	しない

戻る

POINT

チャンネルサーチから続けてチャンネル設定を行っている場合、選択できるのは検出できたチャンネルのみとなります。

5 ／ で表示させる番号を設定し、 を押します。

チャンネル設定

表示チャンネルを
選択してください

リモコン	受信	表示	微調整	スキップ
1	1	1	0	しない
2	2	2	0	しない
3	3	3	0	しない
4	4	4	0	しない
5	5	5	0	しない
6	6	6	0	しない
7	7	7	0	しない
8	8	8	0	しない
9	9	9	0	しない
10	10	10	0	しない
11	11	11	0	しない
12	12	12	0	しない
13	13	13	0	しない
14	14	14	0	しない
15	15	15	0	しない
16	16	16	0	しない

戻る

6 ／ で最適な画質になるように調整し、 を押します。

7 ／ でスキップの設定をおこない、決定を押します。

「する」に設定すると、／またはパソコン本体のチャンネルボタンでチャンネルを切り換えたときに、そのチャンネルをスキップします。

8 続けて設定を行う場合、手順 3 － 7 を繰り返します。

9 全ての設定が終了したら、⌃／⌄で「戻る」を選択し、(決定)を押します。

設定が保存され、メニュー画面に戻ります。

POINT

カーソルが「リモコン」の欄にない場合、(決定)を押すと「リモコン」の列にカーソルが移動します。

10 (戻る)を二回押します。

メニュー画面が消え、テレビを見ることができます。

1 インスタントテレビの起動／終了

インスタントテレビを起動する

1 リモコンの テレビ電源 またはパソコン本体のテレビ電源ボタンを押します。

テレビ電源ランプが緑色に点灯し、インスタントテレビが起動します。

POINT

パソコンモードで使用中でも、パソコンの状態をそのままにしてインスタントテレビを起動することができます。またこのときは、パソコン／テレビボタンを押すことでもインスタントテレビを起動することができます。

重要

「TVfunSTUDIO」で 2 画面表示の TV2 を使った録画、またはタイムシフト中は、インスタントテレビがご利用になれません。インスタントテレビをお使いになりたい場合は、録画またはタイムシフトを停止してください。

- TV2 を使った録画、またはタイムシフト中に テレビ電源 や パソコン/テレビ を押すと、次のメッセージが表示されます。
  「TV2 で録画中のためインスタントテレビは現在ご利用になれません」
- インスタントテレビ視聴中に TV2 を使った予約録画を開始する場合、録画開始直前に次のメッセージが表示されます。
  「まもなく TV2 で予約録画を開始するためパソコン画面に切り替わります」
  そして、録画開始と同時にパソコン画面に切り替わります。録画が終了するか停止するまでインスタントテレビを使うことができなくなります。

「TVfunSTUDIO」の2画面表示については『FMVで見る・録る・残すガイド』→「第 4 章 Windowsを起動してテレビ／DVD／CDを楽しむ」をご覧ください。

インスタントテレビを終了する

1 リモコンの テレビ電源 またはパソコン本体のテレビ電源ボタンを押します。

インスタントテレビが終了し、本製品の電源が切れます。

POINT

パソコンモードで使用したままインスタントテレビを起動した場合には、インスタントテレビを終了するとパソコンモードに戻ります。またこのときは、パソコン／テレビボタンを押すことでもインスタントテレビを終了してパソコンモードに戻ることができます。
パソコンモードでのご使用については、『パソコンの準備』および (サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」をご覧ください。
また、パソコン上でテレビを見る方法については『FMVで見る・録る・残すガイド』をご覧ください。

2 テレビを見る

2

見たいチャンネルを選択する

1 リモコンの［入力切換］またはパソコン本体の入力切換ボタンを押して、テレビ入力に切り換えます。

ボタンを押すたびに、「テレビ」→「ビデオ 1」→「ビデオ 2」→「コンポーネント」（→「テレビ」…）の順で入力が切り換わります。
現在の入力は、画面の右上に表示されます。

2 リモコンの［▲］／［▼］、またはパソコン本体のチャンネルボタンを押して、ご覧になりたいチャンネルを選択します。

［▲］（または右側のボタン）を押すと数字の大きい方に、［▼］（または左側のボタン）を押すと数字の小さい方に、チャンネルを切り換えます。
このとき、チャンネル設定でスキップを「する」に設定したチャンネルは飛ばされます。
「チャンネル設定を変更する」（••▶ P.14）

POINT

1～12までのチャンネルは、現在の入力に関わらず、［1］－［12］を押すことで直接選択することができます。

音量を調節する

1 リモコンの［+］／［−］またはパソコン本体の音量調整ボタンを押して、音量を調節します。

［+］または右側のボタンを押すと音量が大きくなり、［−］または左側のボタンを押すと小さくなります。

POINT

リモコンの［消音］を押すと、本製品のスピーカーからの音声出力をオフにすることができます。スピーカーオフを解除するには、もう一度［消音］を押します。
また、［+］／［−］を押して音量を調節した場合にも、スピーカーオフは解除されます。

音声を切り換える

テレビ入力で二カ国語放送などの音声多重放送を受信しているときに､音声モードを選択します。

1 **リモコンの【音声切替】を押して、ご希望の音声モードを選択します。**

POINT

「主／副」を選択した場合、左スピーカーから主音声、右スピーカーから副音声が聞こえます。

画面サイズを変更する

お好みに応じて画面サイズを変更することができます。
リモコンを使用して設定します。

1 画面サイズ でお好みの画面サイズを選択します。

ボタンを押すたびにファインワイド→ノーマル→ワイド→ズーム→字幕ズームの順で切り換わります。

画面サイズ	解説	適した使いかた
ファインワイド	画面中央から両端に向かってスムーズに引き伸ばすことによって、少ない違和感で画面いっぱいに表示します。このとき、映像の上下がわずかにカットされます。	通常のテレビ放送を画面いっぱいに表示して楽しむのに最適です。
ノーマル	映像を拡大せずに、縦横比 4 : 3 で表示します。	通常のテレビ放送を本来の縦横比で楽しむのに最適です。
ワイド	映像を画面いっぱいに拡大して表示します。	スクイーズ記録形式[注1]の映像を正しい縦横比で楽しむのに最適です。
ズーム	映像の縦横比を保ったまま、画面の左右いっぱいに拡大して表示します。このとき、映像の上下はカットされます。	レターボックス形式[注2]の映像を拡大して楽しむのに最適です。
字幕ズーム	「ズーム」の映像を、上にずらして表示します。	レターボックス形式[注2]の映像で、「ズーム」では切れてしまう画面下の字幕もきちんと表示したい場合に最適です。

注 1： ワイド映像を、横方向に圧縮することで通常の比率（4 : 3）にして記録する方式
注 2： ワイド映像を、上下に黒帯を付加することで通常の比率（4 : 3）にして記録する方式

POINT

・メニュー画面から画面サイズを切り換えることもできます。
→「細かい設定を行う」（P.28）
・コンポーネント入力に D3（1125i）または D4（750p）の信号を入力して表示している場合、画面サイズは変更できません。
・画面サイズは、各入力ごとに設定できます。

重要

本製品を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置く場合、画面サイズ機能を使って画面の拡大、圧縮、または映像の一部カットを行った状態で使用すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

オフタイマーを設定する

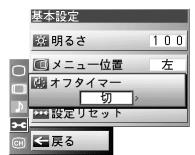
オフタイマーを使用すると、設定時間経過後に自動的にインスタントテレビを終了することができます。
オフタイマーは、10 分刻みで最大 120 分まで設定することができます。
リモコンを使用して設定します。

1 【画面設定】を押して、メニュー画面を表示します。

2 【∧】／【∨】で「基本設定」を選択し、【決定】を押します。

3 ／で「オフタイマー」を選択します。

すでにオフタイマーが稼動中の場合、項目の下側に現在の残り時間が表示されます。

4 ボタンを押して、お好みの設定時間を選択します。

ボタンを押すたびに、「切」→「10 分」→「20 分」→「30 分」→……→「120 分」（→「切」）の順で切り換わります。

5 戻る を 2 回押して、メニュー画面を消去します。

POINT

・オフタイマーの残り時間は、メニュー画面を表示するか、表示 を押して入力情報を表示することで確認できます。

・残り時間が 1 分を過ぎると、画面右下にオフタイマーを実行するか確認のメッセージを表示します。
オフタイマーをキャンセルする場合は、「いいえ」を選択し、決定 を押してください。

3 外部映像機器の映像を見る

外部映像機器を接続する

重要

・外部映像機器の接続・取り外しを行うときは、必ず本製品の電源を切ってください。
・パソコンに直接接続できる外部映像機器は、前面のビデオ 2 入力端子と右側面のビデオ 1 入力端子に 1 台ずつ（ビデオケーブルまたは S 端子ケーブルを使用）、右側面のコンポーネント入力端子に 1 台（コンポーネントケーブルを使用）、合計 3 台までです。

POINT

外部映像機器が正しく接続されているにも関わらず、外部映像機器の映像が画面に表示されない場合には、リモコンの 入力切換 またはパソコン本体の入力切換ボタンを押して、入力を切り換えてください。

必要なものを用意する

次のものを用意します。

・ビデオデッキやビデオカメラ、セットトップボックスなどの映像機器
映像出力端子としてコンポジット端子、S 端子またはコンポーネント端子を持つものがお使いになれます。各社から発売されています。

・ビデオケーブル、S 端子ケーブルまたはコンポーネントケーブル
映像機器の映像出力と、本製品の各映像入力端子を接続するケーブルです。映像機器の出力端子に合わせたものをお選びください。

・音声ケーブル
映像機器の音声出力と、本製品の各ビデオ音声入力端子を接続します。ケーブルは「抵抗なし」のものをお使いください。

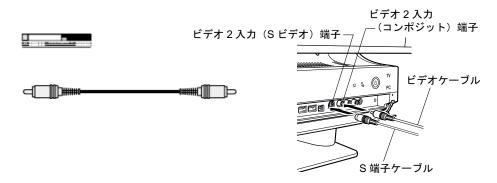
・映像機器のマニュアル
映像機器によって接続方法が異なります。映像機器側の接続については、必ず映像機器のマニュアルをご覧ください。

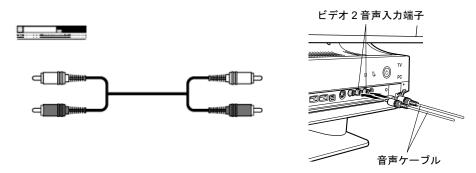
■前面端子（ビデオ 2）に接続する場合

重要

パソコン本体前面のビデオ 2 入力（コンポジット）端子とビデオ 2 入力（S ビデオ）端子には、外部映像機器を 2 台同時に接続せず、どちらか一方に接続してください。

1 **映像信号ケーブルを接続します。**

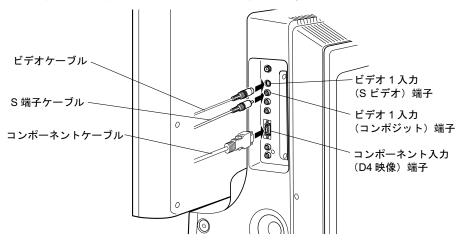
ビデオケーブルまたはS端子ケーブルの一端を本製品のビデオ2入力端子に、他方を映像機器の映像出力端子に接続します。

2 **音声ケーブルを接続します。**

音声ケーブルの一端を本製品のビデオ2音声入力端子に、他方を映像機器の音声出力端子に、ピンプラグの色と端子の色を合わせて接続します。

■側面端子（ビデオ１／コンポーネント）に接続する場合

重要

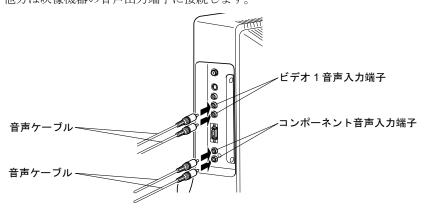
パソコン本体右側面のビデオ1入力（コンポジット）端子とビデオ1入力（S ビデオ）端子には、外部映像機器を複数台同時に接続せず、どちらか一方に接続してください。

1 映像信号ケーブルを接続します。

ビデオケーブルまたは S 端子ケーブルの場合、ケーブルの一端を本製品のビデオ 1 入力端子に、他方を映像機器の映像出力端子に接続します。
コンポーネントケーブルの場合、ケーブルの一端を本製品のコンポーネント入力 (D4 映像) 端子に、他方を映像機器の映像出力端子に接続します。

重要

S 端子ケーブルを接続するときは、ケーブル側のプラグの向きと接続する端子の向きをよく確認してから接続してください。無理に接続すると、本製品およびケーブル、映像機器が破損するおそれがあります。

2 音声ケーブルを接続します。

音声ケーブルの一端を、ビデオケーブルまたはS端子ケーブルを接続した場合は本製品のビデオ1音声入力端子に、コンポーネントケーブルを接続した場合は本製品のコンポーネント音声入力端子に、ピンプラグの色と端子の色を合わせて接続します。
他方は映像機器の音声出力端子に接続します。

ビデオ入力に切り換える

1 **リモコンの入力切換、またはパソコン本体の入力切換ボタンを押して、入力を選択します。**

ボタンを押すたびに、「テレビ」→「ビデオ 1」→「ビデオ 2」→「コンポーネント」(→「テレビ」…) の順で入力が切り換わります。
外部映像機器を接続した入力端子に対応する入力を選択してください。
現在の入力は、画面の右上に表示されます。

外部映像機器の映像を見る

外部映像機器の操作については、外部映像機器のマニュアルをご覧ください。

重要

- ビデオの早送りやスローでの再生時は、画面がちらつくことがあります。
- 映像機器や映像媒体（ビデオテープ、DVD ディスクなど）によっては、画面が乱れることがあります。
- 一部のゲーム機などによっては、画面が乱れたり正常に表示できないことがあります。

POINT

- 音量の調節、音声モードの切り換え、画面サイズの変更については「テレビを見る」をご覧ください。
  「音量を調節する」（▶ P.19）
  「音声を切り換える」（▶ P.20）
  「画面サイズを変更する」（▶ P.21）

4 細かい設定を行う

メニュー画面の基本的な操作

本製品はメニュー画面でさまざまな設定を行うことができます。設定には、リモコンの画面設定、決定、∧／>／∨／<、戻るを使用します。

ボタンの基本機能

画面設定	→	メニュー画面を表示
∧／>／∨／<	→	選択／調節
決定	→	決定
戻る	→	メニュー画面を消去

操作手順

ここでは、「音声設定」の「低音」を調節する場合を例に説明します。

1 **画面設定を押して、メニュー画面を表示します。**

2 **∧／∨で大項目を選択し、決定を押します。**

3 ⌃／⌄で調節したい項目を選択します。

4 ＜／＞で値を調節／選択します。

5 ⌃／⌄で「戻る」を選択し、決定を押します。

6 ⌃／⌄で「終了」を選択し、決定を押します。

メニュー画面が消去されます。

10 秒以上ボタン操作を行わなかった場合、自動的にメニュー画面が消去されます。その際、調節値は保存されます。次に電源を入れたときにも、保存された内容で画面が表示されます。

調節項目の内容

画面に表示する入力や画質モードによって、選択できる調節項目は異なります。

POINT

選択できない項目はグレーで表示されます。

映像設定

アイコン	名称	機能
	画質モード	映像の内容によってお好みの画質を 4 種類から選択します。 **スタンダード**：適度なコントラストで標準的な画質になり、普通の明るさの部屋で見るときに適しています。 **ダイナミック**：コントラストの高い、メリハリの強い画質になります。明るい部屋で見るときに適しています。 **シネマ**：明るさ、コントラストを抑え、暗い映像を見やすくします。映画を見るときなどに適しています。 **ゲーム**：明るさを抑え、目に優しい映像にします。テレビゲームをするときなどに適しています。
	色あい	画面の色あいを調節します。 ＋：赤みがかります。－：緑がかります。
	色のこさ	画面の色の濃さを調節します。 ＋：濃くなります。－：薄くなります。
	コントラスト	画面の濃淡の強さ（コントラスト）を調節します。
BLK	黒レベル	画面の黒浮きを調整します。
	標準に戻す	選択している画質モードの設定内容を購入時の状態に戻します。

POINT

映像設定は、画質モードごとに保存されます。

画面設定

アイコン	名称	機能
	画面サイズ [注 1]	画面サイズを 5 種類から選択します。 各画面サイズについては「画面サイズを変更する」をご参照ください。（••▶ P.21）
	3DY/C 設定 [注 2]	3 次元 Y/C 分離機能の ON/OFF を選択します。ON にすると、画面のにじみなどを抑えた鮮明な映像になります。
	ノイズリダクション	画面のノイズを低減します。[注 3]
	MPEG NR[注 1]	DVDなどのデジタル映像に特有のブロックノイズ、モスキートノイズ（輪郭のノイズ）を低減させます。
	フィルムモード [注 3]	毎秒 24 フレームの映像を表示するとき、映像信号の本来の滑らかさで表現します。映像に不自然さが見られる場合は「OFF」に設定してください。
	標準に戻す	選択している入力の設定内容を購入時の状態に戻します。

注 1：コンポーネント入力に D3（1125i）または D4（750p）の信号を入力して表示している場合は、設定できません。

注 2：ビデオ 1 入力またはビデオ 2 入力で S 端子ケーブルからの映像を表示している場合、ON/OFF の設定はできますが効果は現れません。また、コンポーネント入力を選択している場合は、設定できません。

注 3：コンポーネント入力に D2（525p）または D4（750p）の信号を入力して表示している場合は、設定できません。

POINT

画面設定は、入力ごとに保存されます。

重要

画面サイズについて

本製品を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置く場合、画面サイズ機能を使って画面の拡大、圧縮、または映像の一部カットを行った状態で使用すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

音声設定

アイコン	名称	機能
	高音	音声の高音域の調節をします。 ＋：高音が強くなります。－：高音が弱くなります。
	低音	音声の低音域の調節をします。 ＋：低音が強くなります。－：低音が弱くなります。
	サラウンド	サラウンド機能の ON/OFF を選択します。 ON を選択すると、臨場感のあるサウンドになります。 ただし、音声信号がモノラルの場合にはサラウンド効果を得ることはできません。

アイコン	名称	機能
	サブウーファー（ヘッドホン未接続時）	サブウーファーのレベルを調節します。
	バスブースト（ヘッドホン接続時）	バスブースト機能の ON/OFF を選択します。 ON を選択すると、更に低音域を強調します。

基本設定

アイコン	名称	機能
	明るさ	画面全体の明るさを調節します。
	シャープネス	映像の輪郭の強調度を調節します。
	メニュー位置	メニュー画面の表示位置の左右を切り換えます。
	オフタイマー	インスタントテレビで使用中に、設定した時間になると、電源が切れます。パソコンが起動している場合は、設定した時間になると、パソコン画面に切り換わります。
	設定リセット	チャンネル設定を除く全ての項目をご購入時の設定に戻します。

チャンネル設定（テレビ入力時のみ表示）

アイコン	名称	機能
	チャンネルサーチ	放送電波を検出し、チャンネルを設定します。
	手動設定	以下の 4 項目の設定および調整を行います。 ・チャンネルの割り当て ・チャンネル選択時の表示 ・受信状態の微調節 ・リモコンの［▲］／［▼］またはパソコン本体のチャンネルボタン操作時のスキップ設定
	ゴースト・リダクション	ゴーストリダクション機能の ON/OFF を選択します。 ON にすると、放送局から送信されるゴースト除去信号を感知して、ゴーストを少なくします。

重要

- ゴーストリダクション機能を ON にした状態でチャンネルを切り換えた場合、新たなチャンネルでゴーストリダクション機能の効果が現れるまでしばらくかかることがあります。
- 下記のような場合、ゴーストリダクション機能の効果が十分に得られないことがあります。
  - ゴーストが大きい場合
  - ゴーストが多い場合
  - ゴースト除去信号が正常に受信できない場合
  - 飛行機などに反射して発生した不安定なゴースト

1　こんなときは

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、以下の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。
問題が解決できない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元にご連絡ください。
「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」のご利用については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
テレビ電源ランプが消灯している	電源ケーブルが正しく接続されていない。	電源ケーブルを正しく奥まで確実に接続してください。	『パソコンの準備』→「電源ケーブルを接続する」[注 1]
	電源が入っていない。	電源を入れてください。	「各部の名称と機能」（▶ P.5）
	パソコンモードになっている。	テレビ電源ボタンまたはパソコン／テレビボタンを押して、テレビモードに切り換えてください。	「インスタントテレビを起動する」（▶ P.18）
テレビ電源ランプは緑色に点灯している	外部入力端子に映像信号ケーブルが正しく接続されていない。	本製品および映像機器に映像信号ケーブルを正しく接続してください。	「外部映像機器を接続する」（▶ P.24）
	外部入力端子に未接続の入力を選択している。	入力切換ボタンを押して、ご希望の入力に切り換えてください。	「ビデオ入力に切り換える」（▶ P.27）
	外部入力端子に接続された映像機器の電源が入ってない。	映像機器の電源を入れてください。	—

注１：『パソコンの準備』→「第３章　接続する」→「４．電源ケーブルを接続する」

画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
点灯したままの点や黒い点が表示される	液晶パネルの特性で、故障ではありません。	交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。	－
画面が明るすぎる	明るさの設定値が大きすぎる。	メニュー画面より明るさを調整してください。	「細かい設定を行う」（▶ P.28）
画面が暗すぎる	明るさの設定値が小さすぎる。	メニュー画面より明るさを調整してください。	「細かい設定を行う」（▶ P.28）
画面が暗くなった	液晶パネル内部の蛍光管の寿命がきている。[注 1]	有償にて交換させていただきます。 詳しくは、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」までご連絡ください。	『サポート＆サービスのご案内』
画面を切り換えても前の画像がうすく残っている	長時間同じ静止画を表示すると、この現象が起こることがあります。液晶パネルの特性で、故障ではありません。	本製品の電源を切るか、変化する画像を表示していれば、残像は 1 日程度で自然に消えます。	－
画面いっぱいに表示されない	画面サイズが「ノーマル」になっている。	画面サイズを変更してください。	「画面サイズを変更する」（▶ P.21）
画面がちらつく	一部の階調、表示パターンによってちらつきが発生します。	画質モードを変更して、ちらつきの少ない画質を選択してください。	「細かい設定を行う」（▶ P.28）
突然電源が切れた	オフタイマーで設定した時間になった	故障ではありません。引き続きテレビをご覧になる場合は、テレビ電源ボタンを押してもう一度インスタントテレビを起動してください。	「オフタイマーを設定する」（▶ P.22） 「インスタントテレビを起動する」（▶ P.18）
突然パソコンの画面になった	オフタイマーで設定した時間になった	故障ではありません。引き続きテレビをご覧になる場合は、テレビ電源ボタンを押してもう一度インスタントテレビを起動してください。	「オフタイマーを設定する」（▶ P.22） 「インスタントテレビを起動する」（▶ P.18）
	「TVfunSTUDIO」で 2 画面表示のTV2を使った予約録画が開始された	故障ではありません。引き続きテレビをご覧になる場合は、録画を停止してください。	『FMVで見る・録る・残すガイド』→「第4章 Windowsを起動してテレビ／DVD／CDを楽しむ」

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
テレビ放送が映らない	アンテナケーブルが接続されていない。	アンテナケーブルを正しく接続してください。	『パソコンの準備』→「アンテナケーブルを接続する」[注2]
	チャンネル設定がされていない。	チャンネル設定を行ってください。	「チャンネルの設定」(→P.11)
	テレビ入力が選択されていない。	パソコン／テレビボタンおよび入力切換ボタンを押して、テレビ入力に切り換えてください。	「見たいチャンネルを選択する」(→P.19)
	「TVfunSTUDIO」で2画面表示のTV2を使った録画をしている、またはタイムシフトモードを使用している	故障ではありません。テレビをご覧になる場合は、録画、タイムシフトモードを終了してください。	『FMV で見る・録る・残すガイド』→「第4章 Windowsを起動してテレビ／DVD／CDを楽しむ」
テレビ放送の映像が不鮮明	電波の受信状態が良くない。	チャンネル設定の微調整で、最適になるよう調整してください。	「チャンネル設定を変更する」(→P.14)
	アンテナケーブルが正しく接続されていない。	アンテナケーブルを正しく接続してください。	『パソコンの準備』→「アンテナケーブルを接続する」[注2]
テレビ放送の映像が二重、三重に見える	山や建物からの反射波の影響を受けている。	メニューの基本設定より、ゴースト・リダクションをONにしてください。	「調節項目の内容」(→P.30)
		アンテナの位置、方向、角度を調整してください。	—
・テレビ放送の映像に斑点や縞模様が見える ・テレビ放送の映像が揺れる	自動車やバイク、高圧線、ヘアドライヤーなどからの影響を受けている。	設置場所を変えてみてください。	—

注1：液晶は蛍光管を使用しており、寿命になると明るさが低下します。また、若干黄色くなることがあります。

注2：『パソコンの準備』→「第3章　接続する」→「2．アンテナケーブルを接続する」

音が聞こえない／変な音が聞こえる

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない	本製品のスピーカーの設定がオフになっている。	リモコンの消音ボタンを押して、スピーカーオン／オフを切り換えてください。	「各部の名称と機能」(••▶ P.5)
	音量が小さすぎる。	メニュー画面が表示されていない状態で、音量ボタンで音量を調整してください。	「各部の名称と機能」(••▶ P.5)
	本製品にヘッドホンが接続されている。	本製品にヘッドホンが接続されていると、スピーカーから音が出ません。ヘッドホンを抜いてください。	－
	外部入力の音声ケーブルが接続されていない。	本製品および映像機器に音声ケーブルを正しく接続してください。	「外部映像機器を接続する」(••▶ P.24)
スピーカーからプツプツという雑音が聞こえる	本製品の近くで携帯電話、PHSなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、PHSを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	－
入力切換時や電源投入時などに「プチッ」とノイズ音がする	切り換え直後はオーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	－
チャンネル切換時に一瞬雑音が聞こえる	受信できないチャンネルを選択した。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	－

リモコンで操作できない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
リモコンで操作できない	リモコンの電池が切れている。	リモコンの電池を交換してください。	『パソコンの準備』→「リモコンに乾電池を入れる」[注 1]
	リモコンの電池の極性（＋－）が逆になっている。	電池の極性（＋－）を正しい向きに入れてください。	『パソコンの準備』→「リモコンに乾電池を入れる」[注 1]
	本製品の電源ケーブルが正しく接続されていない。	電源ケーブルを正しく奥まで確実に接続してください。	『パソコンの準備』→「アンテナケーブルを接続する」[注 2]
	リモコン受光部に蛍光灯などの強い照射光が当たっている。	本製品の向き、設置場所を変えてください。	─
	リモコンの信号がリモコン受光部に届いていない。	リモコンを受光部に正しく向けて操作してください。	─

注１：『パソコンの準備』→「第３章　接続する」→「３．リモコンを準備する」→「リモコンに乾電池を入れる」

注２：『パソコンの準備』→「第３章　接続する」→「２．アンテナケーブルを接続する」

3

FMV-DESKPOWER TXシリーズ
インスタントテレビ機能　取扱説明書

B6FH-7021-01-00

発 行 日　2005 年 9 月
発行責任　富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター